

2018年度を振り返って

国際交流センター長 村田 信行

今年度、ほぼ計画通りの活動が行われました。

派遣事業としては、海外研修に過去最高の78名が参加。セメスター留学には、韓国3名、オーストラリア1名が参加し、5、6カ月の実り多い貴重な語学研修生活を送りました。

受入事業では、5月に、長野県と姉妹関係を結んでいるミズーリ州から学生と引率教員等9名、6月には姉妹大学の韓国・漢陽女子大学実務日本語科から学生30名と教員1名を受け入れ、20数年にわたる姉妹校関係をさらに深めました。漢陽女子大学

からは、春学期3名、秋学期4名のセメスター留学生が、一学期間ゲストハウスに住みながら本学の授業を履修し、学生との交流などを深めました。

台湾の高雄科技大学のインターシップ受入は3年目を迎え、日本語専攻の2名が本学キャリア支援センターの仲介により、JR東日本長野支社、長野商工会議所、長野市観光情報センターで4週間のインターシップを行いました。

2019年度は看護学部新設を迎えて、新たな活動を模索、挑戦する一年にしたいと思います。

受入

留学生と

地域の方々の交流！

現在、漢陽女子大学から、4人のセメスター留学生、2人の編入学生が清泉で学んでいます。その6人がそば打ち体験に挑戦しました！講師は、本学の最寄りの三才駅のほど近く、古里地区・西三才から『せいらの会』の皆様です。

もちろん、そばを打つのは初めて。時折「きしめん」みたいな



そば打ちで交流

太い麺もありましたが、それはご愛嬌。一からつくったそばはとてもおいしく、「自分の家で作るのはちょっと難しいけど、大好きなそばを自分でつくって食べることができて楽しかった！」と大満足！

『せいらの会』の皆様も留学生に興味津々で、そば打ちを教えながら日本語も教えて下さり、「そばづくりを伝えることも大事だが、外国の方と交流する、こういう貴重な体験をすることができてうれしい」とおっしゃってくれました。

〈清泉での留学体験記〉

日本語で繋いだ夢

ゴ・ナヒョン

「もし、これまで日本語の勉強をしていなかったら、今の私は何をしているだろうか」と考えてみた時がある。「今とは違う夢を見つけてその道を進んでいるのでは？」と自分に問いながら

も、この答えにはあまり自信がない。小学生の頃はフードスタylistとか、画家とか、いろいろな夢を抱いていたことが頭に残っている。しかし、中学生、高校生になってからは、毎日繰り返す日常に疲れてしまい、夢だったことも徐々に現実に合わせてようになって、もはや私の夢があったのか、忘れていた時もあった。日本語を勉強していなかったら、毎日現実に順応しながら生きていたかもしれない。日本語との出会いが私をここまで導いてくれたと思う。そして今こ



こ(清泉)で感じているこの楽しさも分かんなかっただろう。

(2018年9月～19年1月)

派遣

〈オーストラリア語学研修レポート〉

一人の人間として

国際コミュニケーション科 1年

宮本野乃夏

海外に行くことが初めてだったので、最初は楽しみ半分・不安半分でした。それでも参加を決めた理由は、英語力を向上させたい、日本とは違う国に行きたい、という気持ちがずっと

とあったからです。日本と比べて国土が大きいオーストラリアは、ゆったりとした空気が流れていて、すがすがしい青空が広がっていました。自然があり大地を感じられました。そして、ケアンズは気候が穏やかで快適でした。日本には四季がはっきりとあり、過ごしにくく感じることもあるけれど、4つの季節を感じられることはすばらしいことだと思います。季節があることは当たり前じゃないことも、今回初めて知りました。

異なる国や文化の人たちが同じ国で生活しているのを実際に見て、あの人はどこの国の人だとか、アジアからの移民だとかアフリカからの移民だとかいうのはとっぴらって、みんな一人の人間という同じ目線で考えることが、偏見をなくすことに繋がるのだと思いました。文化や価値観が違って、受け入れて興味を持つことで、さらに異文化交流が楽しくなると実感し、新しいことに挑戦することの楽しさや困難に立ち向かうことで成長できることを学びました。

(2018年8月18日～9月1日)



2018年度海外研修プログラム実績

研修先	期間	主な研修内容	参加人数
オーストラリア(夏)	'18.8/18～9/1	ホームステイをしながら、ケアンズ市内の語学学校へ通学 など	22人
韓国(夏)	'18.9/4～11	姉妹校との交流、ホームステイや文化体験、ソウル市内観光 など	27人
台湾(夏)	'18.9/7～15	協定校にて英語による授業体験、フィールドトリップなど	10人
ハワイ(春)	'19.2/3～17	協定校での英語学習、文化体験、フィールドトリップなど	9人
カンボジア(春)	'19.2/21～27	孤児院でボランティア、現地NPOや地雷対策施設へ訪問 など	10人

※ モンゴル文化研修は中止